

予算のポイント (重点実施事業)

重点実施

1

こども施設整備 29億8,204万円

- 1 市内全ての幼稚園・小中学校で給食を提供します。(中学校2校は整備中)
- 2 市内全ての小中学校の耐震補強、エアコン設置に向け取り組みます。
- 3 幼保一体化施設などの幼児施設を整備します。

重点実施

2

中核病院整備 14億1,264万円

- 1 (仮称) 東近江総合医療センターの整備を行います。

重点実施

3

基幹道路整備 8億4,578万円

- 1 通学路の歩道整備など交通安全施設を整備します。
- 2 中学校線(垣見隧道)の整備を開始します。

重点実施

4

防災力等強化 18億4,839万円

- 1 橋梁点検を実施します。
- 2 自治会館の耐震化、太陽光発電システム設置を支援します。
- 3 災害に強い防災体制を構築します。
- 4 地域防災拠点施設の安全の確保を進めます。

+5

プラス 新規事業

- 1 小学校3年生までの医療費助成を拡大します。
- 2 障がい者の就労に向けたステップアップの場を市役所で実施します。
- 3 介護保険推進全国サミットインひがしおうみを開催します。
- 4 観光物産振興ビジョンを策定します。
- 5 フードシステムの確立に向けて活動します。
- 6 過疎高齢化の進む奥永源寺地域の活性化に取り組みます。
- 7 市内公共施設を活用した学習活動を実施します。

1-1 市内全ての幼稚園・小中学校で給食を提供します。（中学校2校は整備中）

○(仮称)湖東学校給食センター整備(設計) 予算額 1,400万円

規模 5,000食

完成予定 平成26年度末

自校方式からセンター方式に完全移行

○蒲生学校給食センター業務開始

規模 6,000食

全市立幼稚園で給食を提供

市立中学校9校のうち7校で開始

※残り2校は、本年度施設改修を行い、来年度から提供

米飯施設を設け、東近江市産米による
米飯給食を提供

調理実習室、見学通路等を整備し、

食育の情報発信施設として活用



蒲生学校給食センター
H24.3完成

担当：学校施設課・教育総務課

1-2 市内全ての小中学校の耐震補強、エアコン設置に向け取り組みます。

○中学校新築・改築

船岡中学校 校舎改築

玉園中学校 武道場新築

五箇荘中学校 校舎・体育館・プール改築・
武道場新築（設計）

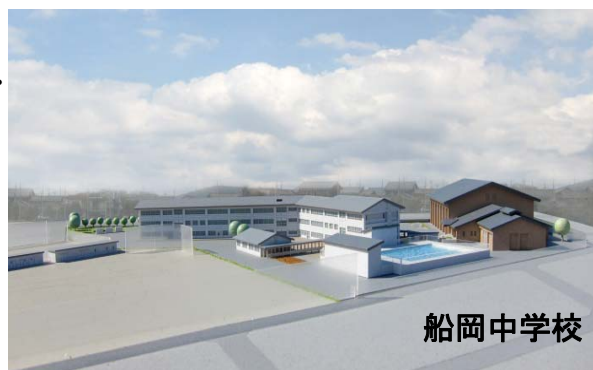
○小中学校耐震補強・大規模改修

御園小学校 耐震補強大規模改修（2年目）

布引小学校 耐震補強大規模改修・
エレベーター棟増築（1年目）

湖東第三小学校 耐震補強大規模改修・
エレベーター棟増築（設計）

玉園中学校 管理室棟・体育館耐震補強大規模改修・
エレベーター棟増築（1年目）



船岡中学校

○エアコン設置

工事 御園小、布引小、玉園中、船岡中

設計 玉緒小、市原小、山上小、愛東南小、愛東北小、湖東第三小、能登川東小

予算額 23億5,554万円

担当：学校施設課

【参考】H24.3月補正計上 7億1,700万円

蒲生西小学校 プール改築・エレベーター棟増築

エアコン設置 八日市北小、能登川西小、蒲生西小、蒲生北小、聖徳中、永源寺中、能登川中

1-3 幼保一体化施設などの幼児施設を整備します。

○湖東幼保一体化施設整備

湖東地区3幼稚園と湖東ひばり保育園を一体化

開園予定 平成25年9月
既存の湖東ひばり保育園を増築

そのほかに

- ・八日市野・つつじ幼保一体化施設整備
- ・ちどり保育園増築工事
- ・能登川第二幼稚園下水道接続及び外構工事など

予算額 6億1,250万円

担当：幼児施設課



2-1 (仮称) 東近江総合医療センターの整備を行います。

○(仮称) 東近江総合医療センター

病床数 320床

総合内科、神経内科、呼吸器内科、
消化器内科、循環器内科、小児科、
外科、整形外科、脳神経外科、
呼吸器外科、心臓血管外科、泌尿器科、
眼科、耳鼻いんこう科、放射線科、
リハビリテーション科、歯科、口腔外科

新たに新設 血液内科、産婦人科
精神科

予算額 14億1,264万円

平成25年4月開院予定



担当：地域医療政策課

3-1 通学路の歩道整備など交通安全施設を整備します。

○交通安全施設整備

歩道整備
通学路を示す、
路側帯のカラー化
道路反射鏡等の設置
など



予算額 5,600万円



担当：道路河川課

3-2 中学校線（垣見隧道）の整備を開始します。

○都市計画道路 中学校線（垣見隧道）の整備 予算額 3億990万円

JR琵琶湖線を横断する垣見隧道を改良します。

緊急車両等の大型車両の通行が可能に。

擦れ違いもできない歩道を改善します。 平成26年度末完成予定

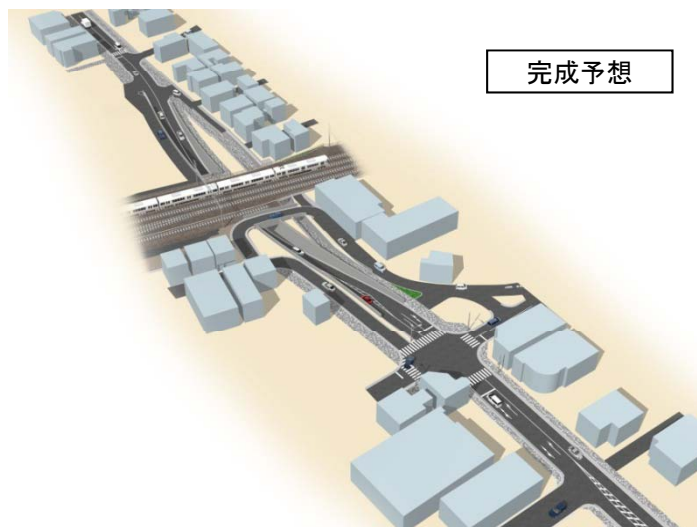
L=216m W=14m



緊急車が通行不可能な車道



擦れ違いもできない歩道



完成予想

そのほかに

- ・都市計画道路 小今建部上中線（聖徳工区）
- ・インターチェンジ設置推進

担当：都市整備課

4-1 橋梁点検を実施します。

○橋梁点検

事後保全的な対応から、計画的かつ予防的な対応をとるため実施。

結果は、平成25年度に策定する橋梁の長寿命化計画に反映。

点検箇所 36橋（予定）



防護柵の老朽化



橋台のヒビ割れ



橋脚の腐食

予算額 648万円

担当：管理課

4-2 自治会館の耐震化、太陽光発電システム設置を支援します。

○コミュニティ活動補助金

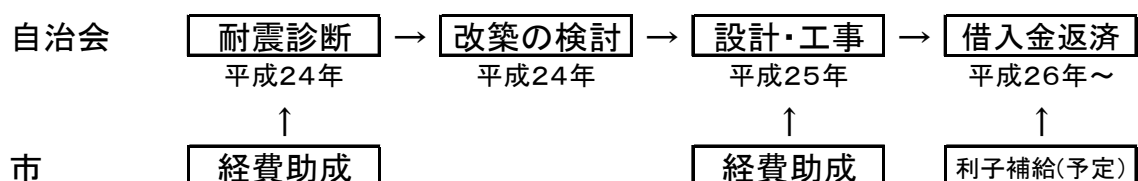
大規模災害の際に、住民の安否確認や自治会の災害支援の拠点となる自治会館を対象に、耐震化にかかる経費に対して補助金を交付します。

自治会館耐震診断 3/4補助 (上限 木造10万円 非木造20万円)

自治ハウス耐震改修補助 1/2補助 (上限250万円)

※同時に施工されるバリアフリー化工事も対象

※整備に際し、自治会が借入を行った場合は、利子補給を行います。



予算額 1,400万円

担当：総務課

○自治ハウス太陽光発電システム設置補助

東日本大震災により地域エネルギーを確保することの大切さを教訓として、自治会館などへの太陽光発電システムの設置に係る経費に対して補助金を交付します。

1kwあたり2万円
(上限10kw20万円)

※整備に際し、自治会が借入を行った場合は、利子補給を行います。

※(参考)住宅用設置補助
1kwあたり1万5千円
(上限5kw7万5千円)



僧坊やまびこ館 (僧坊町自治会館)

予算額 100万円

担当：商工労政課 (新エネルギー政策室)

4-3 災害に強い、防災体制を構築します。

○地域防災計画策定 予算額 1,660万円

- ①防災アセスメント調査 風水害、地震災害に関する詳細アセスメント調査
- ②地域防災計画の修正
風水害対策編、震災対策編に加えて原子力災害対策編の追加
- ③防災関連マニュアル作成

○災害用備蓄品 予算額 500万円

アルファ米、毛布等

○防災対策 予算額 900万円

- ①防災訓練の実施
従来の防災訓練に加えて新たに災害図上訓練を指導できる講師を養成します。
- ②耐震シェルター等普及事業補助
個人宅で耐震シェルターを設置する経費に対して補助金を交付します。



○上水道緊急遮断弁設置 予算額 808万円

災害時の水道管の破損事故等による配水池からの水道水の流出を防ぎ、飲料水を確保するため、緊急遮断弁を設置します。（五個荘配水池）

担当：生活安全対策課・水道課

4-4 地域防災拠点施設の安全の確保を進めます。

○五個荘支所、五個荘コミセン機能移転

五個荘支所を五個荘保健センターに
五個荘コミュニティセンターを五個荘福祉センターに
機能移転を行うための整備を行います。

○コミュニティセンター耐震二次診断

平田、市辺、玉緒、中野、南部、愛東、湖東

○社会体育施設耐震補強

湖東体育館耐震補強工事
能登川スポーツセンター耐震診断評価



新五個荘コミュニティセンター
（現五個荘福祉センター）



湖東体育館

予算額 2億176万円

担当：管財課・生涯学習課・スポーツ課

5-1 小学校3年生までの医療費助成を拡大します。

〇こども医療費助成の拡大

【通院】小学校就学前までを対象に実施してきましたが、
小学校3年生まで拡大します。

【入院】小学校1～3年生の所得制限をなくします。

※県下の市の中では大津市に続き2番目に実施

【改正後】平成24年10月以降

対象	小学校 就学前	小学校1～3年生	小学校4～6年生 中学生
区分	通院 入院	通院(今回新たに拡大) 入院	入院
一部 負担金	なし	通院:保険医療機関ごと 500円/月 入院:1日1,000円で月額14,000円まで	入院:1日1,000円で月額 14,000円まで
所得 制限	なし	通院:なし 入院:あり→なし(今回新たに拡大)	入院:あり

予算額 2,700万円増

担当: 保険年金課



5-2 障がい者の就労に向けたステップアップの場を市役所で実施します。

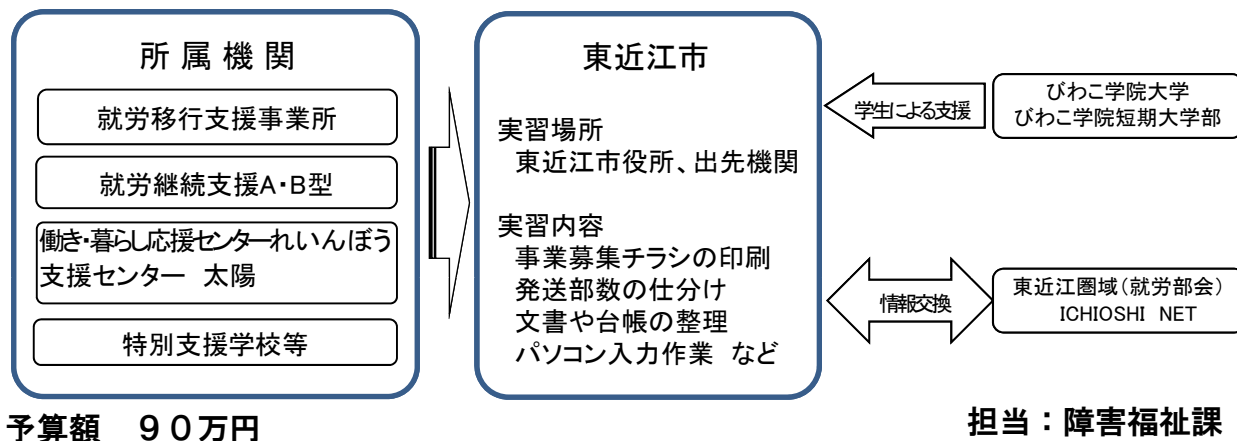
〇障がい者職場体験実施事業

障がいのある人に対して、市役所において職場体験
の場を提供します。

意義

実社会を知る機会となる。
働くことの「やりがい」「厳しさ」
を肌で感じることができる。

→就労に対する意識を高め、就労に
つなげていくことを目的としています。



予算額 90万円

担当: 障害福祉課

5-3 介護保険推進全国サミットインひがしおうみを開催します。

○第13回 介護保険推進全国サミット

高齢者が介護が必要になっても、住み慣れた地域や住まいで安心して暮らせるよう、質の高い保健・医療・福祉介護サービスの確保をめざし、全国の保健・医療・福祉関係者等と意見交換・交流するとともに、東近江市の取り組みを全国に発信したいと考えています。

開催日：10月4・5日

参加者数：約1,000人

内容（予定）

基調講演「医療福祉・地域包括ケアについて」

分科会 「新たな介護サービスについて」
「認知症ケアについて」
「市民後見人制度の話」等

特別講演「在宅医療の最前線の現場から」（仮称）

予算額 2,650万円

担当：長寿福祉課（介護保険サミット推進室）



平成23年度は大分県臼杵市にて開催されました

5-4 観光物産振興ビジョンを策定します。

○観光物産振興ビジョン策定

文化財や地域資源を活かした「観光のまちづくり」を描いた、観光物産ビジョンを策定します。

徹底した現状分析を行い、観光で地域が活性化する仕組みや、関係者の連携、人材育成などを検討します。

特に、「観光」だけでなく「物産」にも視点をのいた施策を検討します。

どんなまちをめざすか？

たとえば

- 東近江市の魅力を活かした着地型観光をめざす
- 地域力を高めるご当地物産の開発をめざす
- ライフデザインを創造できる旅行商品の開発をめざす
- 日本一の観光イベントをめざす



予算額 441万円

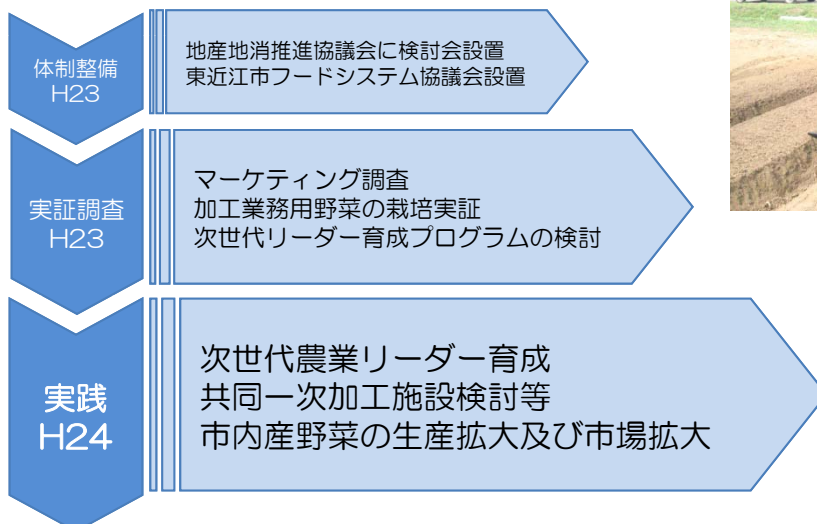
担当：観光物産課

5-5 フードシステムの確立に向けて活動します。

○東近江市フードシステム協議会

平成23年10月4日に、農産物の生産から流通・販売まで安定したシステムの確立を目指して、市内4JA、愛の田園振興公社、ヤンマーアグリイノベーション株式会社、東近江市で設立。

【ロードマップ】



予算額 700万円 担当：農林水産課（フードシステム推進室）、緑の分権改革課

5-6 過疎高齢化の進む奥永源寺地域の活性化に取り組みます。

○道の駅設置

国道421号石樽トンネルの開通に伴い、交通量が増加し、中部圏との交流が活発化しています。

鈴鹿の里コミュニティセンターに、奥永源寺地域のコミュニティ機能を高め、交流の拠点として、また中部圏の窓口として、道の駅の設置を目指します。

住民グループの育成
物産販売イベントの開催（通年）

○集落支援員を設置

総務省の集落支援員制度を活用し設置。

奥永源寺地域の各集落を訪問し、地域の点検や住民の方々との話し合いを通じて、地域の課題や状況把握を行います。

予算額 4,273万円

担当：企画課



道の駅整備予定地でのイベント「溪谷の里物産まつり」

5－7 市内公共施設を活用した学習活動を実施します。

○滋賀県平和祈念館などで校外学習

市内公共施設をめぐり、東近江市をもっと知ってもらい、理解を深める校外学習を実施します。

- ・滋賀県平和祈念館（平成24年3月開館）での平和学習
- ・河辺の森などで環境学習
- ・近江商人博物館や大鳳会館などの市内博物館での郷土学習



滋賀県平和祈念館

○東近江市小学生陸上記録会

日本陸連公認の布引運動公園陸上競技場（布引グリーンスタジアム）において、小学生の陸上記録会を開催します。

競技種目

100m走 1000m走
400mリレー
走り高跳び 走り幅跳び
ソフトボール投げ等



布引グリーンスタジアム

予算額 680万円

担当：学校教育課